

令和元年度第3回

## 平塚市文化財保護委員会 会議次第

日時：令和2年2月18日（火）

午前10時から

場所：平塚市役所本館3階 303会議室

### 平塚市文化財保護委員会 会議

あいさつ

#### 1 報告事項

令和元年度・2年度の文化財保護事業について（資料1）【公開】

#### 2 協議事項

令和元年度・2年度の文化財指定等について（資料2）【非公開】

#### 3 その他【公開】

以上

公 開

## 平塚市文化財保護委員会 資料 1

令和元年度第 3 回文化財保護委員会

令和 2（2020）年 2 月 18 日

## 令和元年度の文化財保護事業について

## 1 無形文化財保存事業

## 目的・内容

郷土芸能の継承と後継者の育成を図るために、民俗芸能まつりの開催、演技指導者の派遣、文楽伝承団体及び指定無形文化財の保存に対する支援を行います。

## I 事業

## ①

名 称	第 69 回湘南ひらつか七夕まつり 平塚市郷土芸能披露
日 時	7 月 7 日（日）9 時 30 分から 10 時
場 所	見附台広場 七夕ステージ
内 容	北金目地区の北久保太鼓保存会、中久保交友会、大久保鼓友連による祭り囃子の演奏（曲目）「刻み」、「宮昇殿」、「治昇殿」、「四丁目」、「仁場」、「屋台囃子」、「乱れ囃子」など。（出演者数）約 30 人（中学生含む）
その他	観覧自由

## ②

名 称	第 43 回 ひらつか民俗芸能まつり
日 時	11 月 17 日（日）12 時 30 分開場 13 時開演
場 所	平塚市中央公民館大ホール
内 容	人形浄瑠璃（高浜高校・湘南座・前鳥座） 囃子太鼓（前鳥神社囃子太鼓保存会）、甚句（須賀甚句の会、眞土神社甚句保存会）
その他	入 場 料：無 料 主 催：平塚市教育委員会 主 管：ひらつか民俗芸能まつり実行委員会 参加人数：333人

## ③

名 称	第 47 回相模人形芝居大会
日 時	令和 2 年 2 月 11 日（火・祝） 12 時 30 分開演
場 所	神奈川県立青少年センター（横浜市西区紅葉ヶ丘 9 番地の 1）
内 容	相模人形芝居連合会 五座の公演
その他	参加団体：前鳥座（平塚市）、下中座（小田原市）、林座・長谷座（厚木市）、足柄座（南足柄市） 入 場 料：無料（往復はがきによる事前申込制） 主 催：相模人形芝居連合会、神奈川県

## II その他各団体が活用している補助金

平塚市補助金交付団体（保存管理奨励補助金）

田村ばやし保存会

前鳥神社祭事保存会

前鳥神社囃子太鼓保存会

文楽人形伝承団体

相模人形芝居前鳥座

湘南座

高浜高校文楽部

## 2 エコ・ミュージアム推進事業

目的・内容

金目地区の自然環境、歴史、文化に関する遺産を再認識し、保存・展示・活用するため、「金目エコミュージアム」が策定した実施事業の推進に向けた取り組みを支援します。

会員数 63名（令和元年5月10日現在）

## 3 歴史的建造物保存活用事業

目的・内容

国登録有形文化財である「旧横浜ゴム平塚製造所記念館（愛称：八幡山の洋館）」を市民の貴重な歴史財産として保存・活用し、管理運営を指定管理者制度により行います。

### ①予定

名称	八幡山の洋館 文化・歴史講座
(1)	
日程	令和2年3月7日（土） 午後2時から3時40分 （休憩10分）
題名	仮題 「“命のビザ” 杉原千畝とその周辺」
講師	宮川重信先生
内容	1940年 リトアニア共和国の日本領事館領事代理としてユダヤ人にビザを発給し、ナチスドイツの迫害から6000余りの人々を救った杉原千畝とその時代を考える。
(2)	
日程	令和2年3月14日（土） 午後2時から3時40分 （休憩10分）
題名	仮題 「平塚空襲について」
講師	土井浩先生（元平塚市博物館長）
内容	平塚に壊滅的な被害をもたらした昭和20年7月16日の空襲。この出来事が平塚の歴史にどのような影響を与えたのかを考える。

## 4 文化財保護事業

### 目的・目標

歴史的に貴重な文化財及び文化遺産を保護するために、指定文化財の保護活用や愛護意識の普及、埋蔵文化財調査及び出土遺物の整理を行います。また、文化財保護委員の職務に必要な経費等を支出します。

### I 事業

#### ①

名 称	平塚城跡第2 地点発掘調査現地見学会 (平塚市教育委員会協力事業)
日 時	平成31年4月20日(土) 午前10時00分～12時00分
場 所	神奈川県立平塚農業高等学校(平塚市達上ヶ丘10-10)
その他	主催 株式会社玉川文化財研究所、協力 神奈川県立平塚農業高等学校

#### ②

名 称	北金目神社平成大修理竣工記念特別公開(覆殿内の修理の終わった本殿を公開)
日 時	平成31年4月27日(土) 午前9時30分～15時30分(自由見学時間) 説明会 午前11時、午後1時30分の 計2回(棟梁の解説:入場自由)
場 所	北金目神社(平塚市北金目3-17-11)
その他	主催 宗教法人北金目神社、北金目神社総代会、平塚市教育委員会 協力 有限会社 内田工務店 見学者 約100人

#### ③

名 称	相模歴史ウォークへの協力
日時・場所	6月3日(月) 午前 大神埋蔵文化財収蔵施設
内 容	相模歴史ウォークは相模小学校6年生の社会科歴史学習の一環で、コースの一部に含まれた収蔵施設で出土遺物の解説を行った。 コース 六兵衛土手-般若院-牛山古墳-真芳寺-埋蔵文化財収蔵施設
その他	大神よりきの郷・相模小学校・大神公民館 共催事業

#### ④

名 称	1) 平塚市文化財写生コンクール
日 時	募集期間7月1日(月)～7月31日(水)
内 容	写生対象:市内の指定文化財をはじめ、身近にある古い建物や道具、遺跡の発掘で見つかった土器等、地域のお祭り、D52型蒸気機関車を題材とした作品 なお、前身の「D52型蒸気機関車写生会」から50回目となった。

その他	参加対象：中学生以下の生徒・児童・園児・幼児。応募方法：開催期間中の平日（午前9時～午後5時）に、社会教育課で受け付け
名 称	2) 写生会（D52型蒸気機関車・博物館の縄文土器写生会）
日 時	7月20日（土）9時30分～15時
場 所	平塚市文化公園（D52型蒸気機関車周辺）、雨天時は中止
参加者	182人
名 称	3) 文化財写生会
日 時	7月29日（月）9時30分～正午
場 所	平塚市埋蔵文化財調査事務所（寺田縄）
その他	寺田縄子ども育成会と共催
名 称	4) 応募作品展示
日 時	8月19日（月）～29日（木）
場 所	平塚市役所本館（多目的スペース）で展示
応募数	51作品 （幼児の部15、小学校低学年13、小学校中学年13、小学校高学年10、中学生0）
名 称	5) 表彰式
日 時	8月29日（木） 平塚市役所本館（多目的スペース）
入 選	特選4、入賞16、平塚駅長賞2（重複あり）
その他	（株）パイロットより副賞、東日本旅客鉄道株式会社平塚駅より平塚駅長賞 入賞作品展示会を9月3日から16日までJR平塚駅東口改札内展示スペースにて入賞作品20点の複製画を展示

⑤

名 称	考古学体験教室（夏の勾玉づくり教室）
日 時	7月22日（月） 粘土でつくる勾玉 7月23日（火） 石でつくる勾玉 午前9時30分から正午
場 所	平塚市埋蔵文化財調査事務所（寺田縄）
対 象	小学1年生～大人、児童・生徒とその保護者 事前申込制 各30名（抽選）
その他	参加費：1人250円（材料費）はがき申込み 広報ひらつか等で周知 参加者 22日30名、23日24名

⑥

名 称	地区公民館事業等での勾玉づくり教室
内 容	・寺田縄子ども育成会（勾玉ペンダントづくりと事務所内出土遺物の見学） 7月23日（火）午後1時30分から午後3時30分 場所 平塚市埋蔵文化財調査事務所 参加者19名 ・大神公民館事業（滑石を使ってオリジナルの勾玉ネックレスを作る）

	<p>7月24日(水) 午前10時から正午 場所 大神公民館 参加者17名</p> <p>・金田公民館事業 (勾玉ペンダントづくりと事務所内出土遺物の見学)</p> <p>7月25日(木) 午前9時から正午 場所 平塚市埋蔵文化財調査事務所</p> <p>参加者23名</p>
--	--

⑦

名 称	第8回平塚市遺跡調査・研究発表会
日 時	8月24日(土) 午後1時から午後4時45分まで
場 所	平塚市教育会館 大会議室(平塚市浅間町12-41)
内 容	<p>平成29・30年度内に発掘調査を行った5遺跡の調査成果報告と講演</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成果報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>七ノ城遺跡 第9地点、寺尾遺跡 第5地点、大会原遺跡 第7地点、北金目塚越遺跡 第27地点、天摩遺跡第3地点</li> </ul> </li> <li>・特別公演 <p>「真土大塚山古墳再考 相模湾岸の古墳時代の始まりの頃」</p> <p>—近年の列島東部の調査成果を踏まえて—</p> <p>講演者：西川修一氏(神奈川県立旭高等学校)</p> <p>開 講：午後2時35分から</p> </li> <li>・出土品展示 <p>日時：8月22日(木)～9月29日(日)</p> <p>展示場所：平塚市博物館 寄贈品コーナー</p> <p>展示内容：「平塚の遺跡 —近年の発掘調査成果—」</p> </li> </ul>
その他	参加費：無 料 自由参加 参加者161人

⑧

名 称	大学交流事業『考古学の世界』
日 時	10月5日(土)・ <del>12日(日)</del> 午後2時から4時 (12日は台風の影響により3月14日(土)に延期)
内 容	<p>5日 千本真生先生(東海大学文学部講師) 歴史学科(本務校：筑波大学)</p> <p>『トラキアの歴史と文化：ブルガリアで先史村落を掘る』</p> <p>講演内容：トラキアとは、今日のブルガリア、ギリシア、トルコの一部からなる地域の名称。ヨーロッパとアジアの接点をなしているトラキアでは、古来より多くの人びとや物資が往来していたため、多様な文化が育まれてきた。この地域にはかつてトラキア人とよばれた民族が住んでおり、独特の習慣や精神性を反映した遺跡や遺物が今日まで数多く残されている。今回は、トラキア人の起源を探るためにブルガリアで行われた東海大学隊による先史村落の発掘調査成果を中心にして、トラキアにおける考古学研究の成果を紹介する。</p> <p>3月14日(土) 小柳美樹先生(東海大学文学部講師) 歴史学科(本務校：金沢大学)</p>

	『古代中国の神々：長江下流域の考古学』 講演内容：中国大陸では、さまざまな文化が生まれ、互いに影響しあいながら融合して『中国文明』が築かれた。特に長江下流域の新石器文化は、稲作農耕の発展をもとに王権が誕生し、いろいろな神々が誕生した。それらは精巧につくられた玉器やその紋様から知ることができる。最新の発掘調査や研究の最前線を紹介しながら「長江下流域の考古学」の世界を語っていただく。
場 所	平塚市中央公民館 大会議室
対 象	市内在住、在勤、在学の方（中学生以上）、1日のみ参加も可 事前申込制（抽選） 各講座 40名程度
	10月5日参加者 35名、3月14日申込者 40名

⑨

名 称	文化財特別公開 国登録有形文化財 原家住宅
日時・場所	11月30日（土） 午前10時から午後2時30分 原家住宅（平塚市土屋）
内 容	登録された主屋、茶室、土蔵、旧長屋門（平成31年3月29日登録）などの建築を中心とした、土屋の大規模農家の典型的な屋敷地の一般公開 解説 午前11時、午後1時30分 吉田鋼市先生、大沢匠氏（O設計室）
その他	事前申し込み不要 自由見学 主催 平塚市教育委員会、協力 原ビルディング株式会社、神奈川大学、ひらつか文化財ガイドボランティア協会 見学者 : 174名（午前11時の回：75名、午後1時30分の回：48名）

⑩予定

名 称	考古学体験教室（春の勾玉づくり教室）
日 時	3月26日（木） 粘土でつくる勾玉 3月27日（金） 石でつくる勾玉 午前9時30分から正午
場 所	平塚市埋蔵文化財調査事務所（寺田縄）
対 象	小学1年生～大人、児童・生徒とその保護者 事前申込制 各30名（抽選）
その他	参加費：1人250、350円（材料費）はがき申込み 広報ひらつか等で周知参加者

II 埋蔵文化財資料の活用・調査・保管

① 資料貸出

名 称	東京国立博物館への資料貸出
期 間	平成31年4月1日から令和2年3月31日（平成12年度から毎年度更新）
場 所	東京国立博物館 平成館考古展示室
資料名	緑釉陶器 花文輪花碗（林B遺跡）、 緑釉陶器 稜碗（山王B遺跡）、

	緑釉陶器 蓮葉皿（林B遺跡）
--	----------------

名 称	市立港小学校への考古資料貸出
期 間	平成 31 年 4 月 24 日から 4 月 26 日
場 所	平塚市立港小学校
資料名	真田・北金目遺跡群出土の旧石器時代～弥生時代の石器・土器、万田遺跡の貝・魚・動物骨一式、城山横穴墓出土の装身具一式、構之内遺跡・高林寺遺跡出土の土師器・緑釉陶器・灰釉陶器・土製品・石製品

名 称	令和元年度かながわの遺跡展への資料貸出
期 間	令和元年 10 月 17 日から令和 2 年 3 月 27 日
場 所	神奈川県立歴史博物館及び綾瀬市役所市民展示ホール
資料名	新町遺跡 弥生土器 2 点 遠原遺跡 弥生土器 1 点 遠藤原A遺跡 弥生土器 3 点（うち 2 点は平塚市重要文化財 第 43 号） 真田・北金目遺跡群 縄文時代の種実 4 点

名 称	「朝霞から見る古墳の出現」への資料貸出
期 間	令和元年 10 月 8 日から令和 2 年 1 月 10 日
場 所	朝霞市博物館
資料名	塚越古墳 出土土器 3 点・管玉 5 点・赤色顔料 1 点 真田・北金目遺跡群 方形周溝墓出土土器 13 点及び写真・画像

民間調査組織からの報告書刊行済みの出土遺物・記録図面類提出

- 御殿H遺跡第 2 地点 平成 26 年度調査 武相文化財研究所  
記録図面類・写真類一式、出土遺物整理箱 6 箱 4 月 11 日收受
- 御所ヶ谷遺跡第 2 地点 平成 25・26 年度調査 武相文化財研究所  
記録図面類・写真類一式、出土遺物整理箱 7 箱 4 月 11 日收受
- 高林寺遺跡第 18 地点 平成 28 年度調査 株式会社アーク・フィールドワークシステム  
記録図面類・写真類一式、出土遺物整理箱 46 箱 11 月 21 日收受
- 諏訪前A遺跡第 13 地点 平成 28 年度調査 株式会社アーク・フィールドワークシステム  
記録図面類・写真類一式、出土遺物整理箱 18 箱 11 月 21 日收受
- 北金目塚越遺跡第 13 地点 平成 26 年度調査 有限会社吾妻考古学研究所  
記録図面類・写真一式、出土遺物整理箱 22 箱 2 月 4 日收受
- 坪ノ内遺跡第 12 地点 平成 26 年度調査 有限会社吾妻考古学研究所  
記録図面類・写真一式、出土遺物整理箱 1 箱 2 月 4 日收受
- 御殿 E 遺跡第 2 地点 平成 26 年度調査 有限会社吾妻考古学研究所  
記録図面類・写真一式、出土遺物整理箱 1 箱 2 月 4 日收受

② 発掘調査と整理の状況

民間調査機関による発掘調査

遺跡名	面積 (㎡)	調査期間	備考
新町遺跡第10地点 (新町)	2031.7	2月20日～7月19日	工場 古墳～平安時代 (株) 玉川文化財研究所
東中原G遺跡第5地点 (東中原二丁目)	233	3月18日～6月14日	宅地造成 奈良～平安時代 (株) アーク・フィールドワークシステム
北金目塚越遺跡 第28地点 (真田一丁目)	131	5月27日～6月20日	集合住宅 弥生時代後期～ 中世 (株) アーク・フィールドワークシステム
十五ノ域遺跡第1地点 (西真土三丁目)	113	11月11日～12月12日	建売住宅 弥生時代、奈良・ 平安時代 (有) 吾妻考古学 研究所
東十町原遺跡第3地点 (追分)	278	11月14日～1月11日	店舗 弥生時代、平安時代か ら中世 (有) 相模考古学研 究所
新町西遺跡第1地点 (新町)	722	1月27日～4月30日(予定)	工場 奈良・平安時代 睦合 文化財(株)
新町遺跡第11地点 (新町)	9540	2月3日～11月30日(予定)	工場 古墳～近世 (株) 玉川文化財研究所

平塚市教育委員会による発掘調査

遺跡名	面積 (㎡)	調査期間	備考
中里D遺跡第5地点 (中里)	約7.5	5月23日～29日	個人住宅 奈良～平安時代
六ノ域遺跡第18地点 (四之宮三丁目)	約16	6月17日～7月2日	個人住宅 奈良～平安時代
六ノ域遺跡第19地点 (四之宮三丁目)	約24	10月8日～23日	個人住宅 奈良～平安時代
梶谷原B遺跡第3地点 (西真土一丁目)	約10	11月5日～11月8日	個人住宅 奈良～平安時代

神奈川県教育委員会による発掘調査

遺跡名	面積 (㎡)	調査期間	備考
平塚城跡第2地点 (達上ヶ丘)	1,385.7	平成30年6月11日～令和元年8月19日	平塚農業高校建設 古墳時代～近世 (株)玉川文化財研究所
七ノ域遺跡第10地点 (東真土一丁目)	1,603	令和元年7月8日～令和2年3月31日(予定)	湘南新道 古墳時代～中世 (株)玉川文化財研究所
諏訪前A遺跡第16地点 (東真土一丁目)	約 1,885	令和元年12月17日～令和2年6月30日(予定)	湘南新道 古墳～近世 国際文化財(株)

平塚市教育委員会による資料整理

「平塚市埋蔵文化シリーズ52」 梶谷原B遺跡第2地点(平成5年調査)、北金目塚越遺跡第2地点(平成17年調査)・第4地点(平成21年調査)

「埋蔵文化財調査報告書17集」 高林寺遺跡第13地点(平成3年調査)

「平塚市試掘・確認調査報告書3」 平成12年度国庫補助試掘確認調査(60件分)

報告書の刊行

「平塚市埋蔵文化シリーズ48」 七ノ域遺跡第6地点(平成5年調査、平成27年度整理)

「平塚市埋蔵文化シリーズ49」 御殿B遺跡第1地点(平成5年調査、平成28年度整理)

「平塚市試掘・確認調査報告書3」

### ③試掘確認調査の状況

個人住宅、宅地造成、平塚市事業他 2月17日現在86件(平成30年度90件/年)

平塚市事業の試掘確認調査

相模小学校移転に伴う事前調査 墨染遺跡隣接地(大神) 7月22日～23日

さくら幼稚園跡地利用に伴う事前調査 六ノ域遺跡(東真土二丁目) 8月5日～7日

## 5 ふるさと歴史再発見事業

目的・内容

平塚で暮らした作家、村井弦斎の功績を広く市民に周知するためのイベントを開催します。また、地域の歴史再発見の一助とするため、市内各地に設置した説明板等について必要な修繕を行います。

—以 上—

## 令和2年度 社会教育課文化財保護担当予定表

月	日	内 容
5	23・24	八幡山の洋館「第19回ひらつか音楽のおくりもの」
7	1～31	平塚市文化財写生コンクール（募集）
	未 定	D52型蒸気機関車写生会 （文化財写生コンクール内イベント）
	下旬	考古学体験教室「夏休み勾玉づくり教室」
8	22	第9回平塚市遺跡調査・研究発表会
9	下旬	第21回村井弦斎まつり
10	10・11	八幡山の洋館「第20回ひらつか音楽のおくりもの」
	未 定	大学交流事業「考古学の世界」
11	15	第44回ひらつか民俗芸能まつり
12	4～6・12	八幡山の洋館「第11回クリスマスフェスタ」
1	26	文化財防火デー
2	14	第48回相模人形芝居大会（共催事業 中央公民館）
3	下旬	考古学体験教室「春の勾玉づくり教室」
1-3	未定	八幡山の洋館 歴史講座・文化講座

## 令和元年度平塚市文化財特別公開 「国登録有形文化財登録記念特別公開 原家住宅」事業報告

内 容 平成31年に国登録有形文化財に指定された「原家住宅」。このことを記念して特別公開を実施しました。普段は見ることのできない土屋の里山の民家建築を間近に見ることで、文化財について関心をもってもらい広く文化財に親しみ保護意識を高めることを目的に、みなさまにご覧いただきました。解説には、平塚市文化財保護委員の吉田鋼市先生とこの原家住宅の調査を担当した有限会社O設計室 大沢匠氏(鎌倉市)から解説していただきました。

### ■開催概要■

日 時 令和元年11月30日(土) 午前10時00分～午後2時30分(自由見学)  
午前11時、午後1時30分の 計2回 各30分(専門の先生による解説)

場 所 「原家住宅」(平塚市土屋)

対 象 一般

主 催 平塚市教育委員会(社会教育課)  
(協力)原ビルディング株式会社 学校法人神奈川大学 ひらつか文化財ガイドボランティア協会

参 加 者 見学者：174名  
(午前11時の回:75名、午後1時30分の回:48名)

### ■写 真■



来訪状況



解説(吉田先生)



見学状況 1



見学状況 2



市長来訪(原家の方々)



案内看板と薬医門



解説(大沢氏)



見学状況 3

■取材■

広報ひらつか(平塚市広報課)